

みどりの ニュースレター

21世紀 地球を、地域を、生活を、
持続可能な豊かさに

11
2006
No.162

特集：ポスト“愛・地球博” 東海からはじまるムーブメント



みのや北村酒店
北村 彰彦氏



安城市長 神谷 学氏 (左)
助役 山田 朝夫氏 (右)



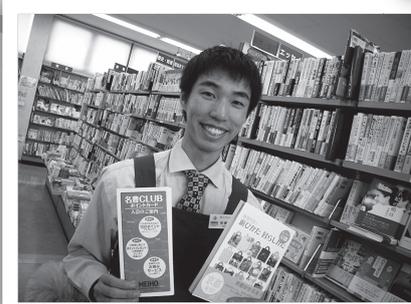
安城環境劇団いるかの亀田 将紀氏



KIDSアドベンチャーエコツアー
(渥美線 三河田原駅)



あいち海上の森センター 名誉センター長
マリ・クリスティーン氏



ブックセンター名豊 皆瀬 寿樹氏



「日本の環境首都コンテスト」中部地域交流会



加藤醸造場 加藤 武人氏



特定非営利活動法人

環境市民

Citizens Environmental Foundation - since 1992 -
<http://www.kankyoshimin.org>

¥200

みどりの ニュースレター

No.162
2006年 11月号
Citizens Environmental Foundation

コレため! コレ、
ためしてみました。

毎月エコロジカルなライフスタイル・グッズを
スタッフが体をはって実践レポートします!



File no.16 ウェブサイトでエコな宿泊所選び

文/ニュースレター編集部 有川 真理子

各地で紅葉シーズンも本番を迎え、旅に出る方も多いのではないのでしょうか。そんなときにぜひ活用していただきたいウェブサイトがグリーン購入ネットワーク*の「GPN エコチャレンジホテル旅館データベース」。環境に取り組む宿泊施設が約300以上紹介されています。

地域（都道府県単位）と施設名で検索ができ、廃棄物削減、食品廃棄物、省エネルギー・節水、化学物質やグリーン購入といった環境への取り組みや宿泊料金、アクセス方法などがわかります。さらに、89もの細かな項目についての取り組みも紹介されています。例えば、アメニティグッズは二重包装していないか、シャンプーやリンスは個別包装ではなくディスペンサーにしているか、施設内の売店では簡易包装をしているか、など具体的に書かれており、読んでいるとエコホテル選びの達人になれそうです。

さらに、グリーンコンシューマーとしてぜひやってみるのが、よく部屋の机の上に置かれている「お客様のアンケート」に、環境の取り組みを応援するコメントを書くというもの。例えば、私が泊まったあるホテルの電気ポットのそばに「お湯を使わないときはコンセントを抜いてください」という説明がありました。こうした呼びかけをお客さんにするのはいいなあ!と思い、アンケートに書いておきました。宿泊者の声は、経営側を動かす、ホテルをエコに変えていく力になります。

旅行で、ビジネスで、ぜひこのサイトを活用してみてくださいね。

* グリーン購入ネットワーク：環境保全型製品に関する情報を発信し、購入ノウハウを広げることを目的に、環境に配慮した購入を推進するネットワークとして1996年に設立された非営利の民間組織。現在の会員（企業、自治体、団体）数は約2800。

◆「GPN エコチャレンジホテル旅館データベース」

<http://www.ecochallenge.jp/index.html>

環境への取り組みをまとめたGPN エコチャレンジ・チェックリストの基礎項目の14項目中、10項目以上をクリアしている宿泊施設、約300以上を紹介。「旅の窓口」と連動しており、予約もできる。



今月の表紙……

東海地域で環境ムーブメント
を巻き起こしている人たち。

コレため!

ウェブサイトでエコな宿泊所選び …02

特集：ポスト“愛・地球博” 東海からはじまるムーブメント

…03-07

みんなでエコろう! 行事案内

…08-09

とれたて! 環境市民

…10-11

イベント&ミーティングカレンダー
旬のぶちメモ
講演のご案内
…11-12

青き星 碧い風

第九回 瀬沢の秋
…13

みんな集まれ! わいわいひろば

エコな健康法
…14

1/ 環境市民

竹原 幸子さん
…15

今月のありがとう

新入会員インタビュー・新入会員・寄付他
…16

特集：ポスト“愛・地球博” 東海からはじまるムーブメント

今月は、環境市民でもはじめて環境市民東海事務所メンバーが特集の企画、取材にチャレンジしました。東海エリアの環境事情を東海事務所メンバーが総力をあげて取材した生情報をお届けします！ 2005年に開催された愛・地球博（正式名称：2005年日本国際博覧会）は紆余曲折がありましたが無事終了し、2006年9月16日から25日に行なわれた閉幕1周年記念事業も大盛況でした。東海エリアで活発に動きはじめた市民や自治体などの環境への取り組み、NPOと自治体、企業との協働事業などをレポートします。また、愛知県は移動に関して自家用自動車に依存度が高いので、公共交通機関の鉄道について、合わせてレポートします。

特集企画・取材／環境市民 理事 東海事務所 所長 鶴岡 朗

「愛・地球博」の評価とこれから

さまざまな議論をまきおこした愛・地球博。東海地区の環境関連の関係者はどうとらえているのかを聞いた。

●愛・地球博は未来づくりにかかわるきっかけになった

愛・地球博から一年が過ぎた。思い返せば愛知県での万博開催が決定されてから、いろいろなことがあった。市民団体においては、賛成派・反対派・どちらでもない派などそれぞれの意志のもとで対立する時期もあり、万博開催をめくり多々の議論が沸き起こった。いい意味でも悪い意味でも、万博は、私たちが「きちんと社会に向き合う」きっかけを与えた。そしてその結果、持続可能な社会の実現に向けて、担い手である「市民セクターの参加」と「環境技術」という新しい価値が産み落とされた。私は、万博を「きっかけ」だと思っている。万博において「意志を表現する場」を獲得した市民の次のステップは、次代の社会づくりに「きっちり」参画する場面を創ることである。しかも他セクターと対等に公正に。市民力、いや万博でいう「人間力」を活かす時期にはいった。持続可能な未来をつくるのは「私たち」である。万博でのさまざまな議論から得た「学び」をいかし、役割の違う人々と、新しい価値をカタチにする主役になろう。（新海洋子 環境省・中部環境パートナーシップオフィス）

●市民・自治体・企業が「愛・地球博」をきっかけに動き出した

「愛・地球博」をきっかけに、市民のNPOやボランティアへの関心・意欲が強くなったのは事実だと思います。企業はCSR（企業の社会的責任）として、行政は市民参画型社会を推進するために、NPOとの協働を現実的に考えるようになったといえます。それは、企業も行政もNPOの活動現場を見たり、一緒に活動したりすることでお互いの距離間が縮まったからではないでしょうか。NPO側は、そうした行政や企業の変化を敏感につかみ、それぞれとの協働や政策づくり等に積極的に参画できるよう、本物の力をつけることが大切だと思います。（NPO法人 パートナーシップサポートセンター 代表理事 岸田真代さん）

愛・地球博会場のその後

「愛・地球博記念公園」（愛称：モリコロパーク）

愛・地球博の長久手会場は、もともと「愛知県青少年公園」だった場所を利用した。閉幕後この公園は「愛・地球博記念公園（愛称モリコロパーク）暫定基本計画^{※1}」をもとにして、県民と行政とのパートナーシップによる公園整備と管理運営をおこなうと発表された。これも「愛・地球博」遺産だ。これからは楽しみ行政・市民・企業・NGOなどとの協働である。実施例と

して、「こどものひろば」の「記念植樹祭」は、NPOからの公募により事業が行われた。しかし残念ながら、東海事務所は3点差で次点に涙した。

元長久手会場の一角につくろうとしている「アイデアのひろば」については、愛知県が「博覧会の理念と成果の継承を具体的にどうするのか」ということについてNPOにヒアリングを行った。もちろん私も企画提案させていただいた。

（取材協力：愛知県公園緑地課）

（※1）愛知県公園緑地課が出している愛・地球博後の公園計画の報告書。しかしこの暫定基本報告書の時点ではまだ「博覧会の理念と成果の継承の場」として位置付けた「アイデアのひろば」の計画は取りまわられていなかった。

「あいち海上の森センター」

「愛・地球博」の瀬戸会場にあった瀬戸愛知県館は「あいち海上の森センター」にリニューアルした。「愛知万博」開催の議論の中心となったのは海上の森である。自然保護と開発のあり方や、環境博とも言われた博覧会のテーマ実現に大きく関わり、愛知万博の象徴であるとともに原点の森となった。愛知県は、この海上の森を愛知万博記念の森として保全活用する「あいち海上の森条例」を制定した。（取材協力：愛知県森林保全課）

9月25日にオープン。本館は地上3階、地下1階。延べ床面積は約1,500平方メートル。海上の森の保全と活用の取り組み、森林や里山に関する学習と交流の拠点となります。名誉センター長であるマリ・クリステューヌ氏に、海上の森について、想いを語っていただきました。



マリ・クリステューヌ氏……
元「愛・地球博」広報プロデューサー
あいち海上の森センター 名誉センター長
NGO アジアの女性と子どもネットワーク 代表

海上の森（あいち海上の森センター）はどのような場所になるのでしょうか？

「海上の森は体験して、学ぶチャンスがあります。だれもが参加できる活動の場であり、自然を尊敬することができる場です。わたしの好きな言葉に「わたしに魚を一匹ください！ そうすれば一日食べられます。」「わたしに魚の捕り方を教えてください！ そうすれば一生食べられます。」という言葉があります。これは技術を身につけることにより自分自身がエンパワーメントされる。ということです。海上の森でさまざまな体験をすると、一生自然を大切にできる人間になれるのではないのでしょうか。」

（取材協力：オフィス マリ・クリステューヌ 地域・都市まちづくり研究所）

目指せ東海地域 脱車社会！

「自動車依存と郊外化がすすんだ地方都市ほど環境負荷が高い」（平成18年度 環境省『環境白書』「省CO₂による温暖化防止」より）といわれているが、東海地域も例外ではない。むしろ、下記データのように、地域によっては東京よりも車依存度が高くなっている。そこで環境市民東海事務所の市民研究員 公共交通機関調査チームが脱車社会へむけてどうすればいいか、東海の主要交通手段の状況など調査検討を行った。

東京都首都圏の自動車依存度（以下自動車）は33.1%、鉄道依存度（以下鉄道）は25.5%。
京阪神圏は自動車31.7%、鉄道18.9%。
中京都市圏は自動車56.3%、鉄道10%。
渥美半島、三河山間部は自動車は75%。
（愛知県ホームページ「自動車利用の現状」（2000年））

●自動車がないと生活できない？

公共交通機関利用率アップのため、家族割引など各種料金の改定や、鉄道車両に自転車に乗せることを企画提案したい。（文・写真/市民研究員* 公共交通機関調査チーム）

*市民研究員とは「オワリ名古屋のハジメノ調査研究2006事業」のスタッフである。具体的には公共交通機関調査・環境共生住宅調査・酸性雨調査などを、おこなっている東海事務所のボランティアである。

名古屋臨海高速鉄道株式会社

①「あおなみ線」

名古屋市発行の敬老バスは、市営地下鉄・市営バスはもちろん「あおなみ線」バスでも使える。一般の人たちも市営地下鉄の切符で乗り継ぎ（乗り換え）ができると公共交通の利用率が今よりアップするはずだ。藤前干潟へ行く時にはあおなみ線「野跡駅」からすぐなので、その点はとても便利がいい線である。将来、海の底を走って中部国際空港までいく予定はあるのだろうか？*（文/市民研究員（オワリ名古屋のハジメノ調査研究2006）増田 武）

*あおなみ線の経路を延長すると中部国際空港へ向いており、現在は空港へ移動するための交通公共手段は一つしかないため、あおなみ線延長への期待も高まっている。



●豊橋駅周辺のまちづくり

今年、「LRT（Light Rail Transit）システム協議会」が豊橋市、豊橋鉄道などで設立された。ますます路面電車のあるまちづくりが楽しみになる。

そして「豊橋渥美都市計画事業 豊橋東口駅南土地地区画整理事業」として、現在の渥美線（新豊橋―三河田原）の新豊橋駅が、JR豊橋駅側に移転する。新駅は豊橋市の協力により、ホームは2本になり乗り降りがしやすくなる計画だ（2008年春完成予定）。2010年頃には東海エリア鉄道会社共通のICカード導入を検討している（JR東日本のスイカのようなもの）。自動車の依存しない公共交通機関の整備が、関係機関の努力により着実に進んでいる。

（取材協力：豊橋市環境政策課・都市計画課・都心活性化課、豊橋鉄道営業本部）



桃花台新交通株式会社

②「桃花台線（ピーチライナー）」

開通から15年で廃線が決まる。高度成長期に企画された桃花台ニュータウン構想と、その交通手段として採用された新交通システム「桃花台線（ピーチライナー）」は、専用軌道上を走り、動力は電気、車輪はゴムタイヤを使用して排気ガスがなく、低振動、低騒音で、環境にやさしく、かつ安全がセールスポイントであった。しかし、バブル絶頂期に開業したピーチライナーは、採算が取れず、累積赤字に堪えかねてあえなく9月末で廃止された。この15年間はいったい何だったのだろうか？ このような交通政策でよかったのだろうか？ という声が市民から聞こえてくる。採算を度外視した、行け行けドンドン時代の終焉の一つの事例とも言える。「もったいない」でゆれる新幹線「南びわ湖」新駅問題、他山の石とすべし、と思うがどうか。（文・写真/東海事務所 運営委員 鈴木 紘）



JR 東海グループ

⑦「城北線」

JR 中央本線の勝川駅と、東海道本線の枇杷島駅の間を東西に走る都市鉄道、城北線。全長11.2kmある線路は前線高架で、高さは平均で地上19mもある。その高さだけに車両や駅からの眺めは



格別で、南側には騒然とした名古屋の町並みが広がり、その中に名古屋城や清洲城など多くの著名建造物を見つけることができる。うまくいけば枇杷島駅の横を走る新幹線や名古屋空港を離着陸する飛行機に遭遇し、晴れた日には遠く御嶽山や伊吹山まで見渡せることができる。そんな「16分間の空中散歩」が楽しめるこの電車、人気不足なのが悩み。

運行車両は2台のみで、日中はそのうち1台が行き来する。1日26往復のみ。1時間に1往復程度の運行で、1日の平均乗車数はおよそ1000人。運賃がJRの地方交通線として計算した場合と比べると倍近く、線路の高さと同じように高い。

この鉄道、もとは国鉄時代に貨物輸送を目的として計画され昭和51年に建設開始。その後国鉄改革のあおりを受けて中断。民営化後に旅客化へと方針転換されて開通という非業な運命をたどっているのが無理もないと思うが、改良できる場所は数多くあると思う。交差する名鉄線と乗り継ぎ駅をつくる。勝川駅はJRの駅まで延長して、中央線経由で名古屋駅まで乗り入れて小さな循環線をつくるなど。そのときは手軽な料金体系にしてパーク＆ライドができる駅になるといいなと思う。沿線には楽しめる見所がいくつもあるので、車内に自転車を持ち込めるといいですね。（文・写真/市民研究員（オワリ名古屋のハジメノ調査研究2006）西尾 紀子）

●脱車社会の予感!? 東海地区路線図



高架専用道路

④「ゆとりーとライン」ガイドウェイバスシステム志段味線

名古屋市北区大曾根から小幡緑地までを高架専用軌道走り、一般道で中志段味まで走る路線。ネーミングは一般公募で決まった。「ゆとり」と「ストリート」を合わせた造語である。高架専用軌道では、車両の前後に小さな車輪があり、それがガイドになるため、運転手がハンドルに手を触れなくても走行する。なお、一般道では普通のバスとして走行する。交通渋滞の心配がない新しい交通システムである。(文・写真/市民研究員 公共交通機関調査チーム)

⑤「東部丘陵 (リニモ) 線」



愛・地球博終了後、利用客は減ってしまいましたが、利用者を増やすための様々な事業の中の一つが成果を出しました。それは沿線にある大学関係者の利用です。大学生の多くは車で通学が多いのですが、リニモでの通学をよびかけるキャンペーンなどを行い利用者が増えました。

●乗車率アップのための事業活動

- ・7月15日に「愛・地球博記念公園」を部分開園。家族連れの乗客が、特に土日に多くなったようです。
- ・愛・地球博記念公園駅にパーク&ライド駐車場を設置。リニモで通勤される方を対象に、10月1日から、月3000円で駐車場を貸すようです。

今回取材チームがリニモの乗車率を上げるためのアイデアを車内取材してみました。

●(車内での取材)

大阪から来ました。トヨタ関連の工場を見学する1泊2日のツアーに全くの趣味で参加したのですが非常に面白かつ

たです。リニモの乗車は2日目のサブ行事。目的は、最先端の技術がつまった電車に乗ること、です。私のような鉄道マニアには、非常に面白い。日本全国で、リニモに乗ったことのない方は多いし、乗りたい人はきっと多いはず。

(取材の感想) リニモの利用率が少ない一番の理由は、利用する目的があまりないことだと思います。そうになると、各駅の周りに商業施設をつくる等のアイデアが出てくるかもしれませんが、もっと違う考え方があることを、5分ほどのインタビューで感じました。

●具体的な利用の可能性

- ・リニモ自体が学習テーマとして面白い素材であり、旅行代理店等との提携によって、全国から人が集まる可能性があること。
- ・鉄道マニア向けのような趣味の分野へのアピールで、違った付加価値をリニモに持たせることができそうであること。
- またその他のアイデアとして、沿線にサイクリングコースを造ってもいいかもしれません。例えば八草駅で下車して、「海上の森」まで行くコースです。そのために、リニモに自転車を乗せやすくする対策も必要になってきます。ちなみに、乗客率アップのための事業活動は少しずつですが、進んでいるようです。

(文・写真/東海事務所 運営委員 與語 桜子)

どえりゃあことになっとる

—東海エリアのNPO、事業者、自治体—

「日本の環境首都コンテスト」中部地域交流会

と き : 2006年10月6日(金)
午前10:30から午後5:00
と ころ : 安城市役所 第10会議室
共 催 : 環境首都コンテスト全国ネットワーク、安城市

私の担当する中部地域では「日本の環境首都コンテスト」の参加自治体を中心に中部地域交流会を'04年から実施('04年多治見市、'05年豊橋市、新城市、愛知大学と共催)してきました。今年は、10月6日(金)に安城市と共催で9自治体と5市民団体の参加(48人)で実施しました。目的は、今後の自治体における効果的な施策検討、自治体とのより深いパートナーシップを築くことです。オープニングでは安城市長(神谷 学氏)と、環境担当第二助役(山田 朝夫氏)も出席。

★参加自治体 安城市・飯田市・岡崎市・新城市
瀬戸市・多治見市・田原市・日進市・水俣市(順不同)

交流会では、ドイツの環境首都のDVD上映と、枚本育生(環境市民 代表理事)による施策紹介。ゲストに首都コン連続1位の水俣市を迎えて、先進事例を中心にその取り組みを紹介しました。昼食時には、参加者同士が自己紹介をして交流を深めるなど充実した時間でした。

事例発表では、安城市の環境ボランティア劇団の活動紹介と、「環境首都」実現に向けた取り組みが印象的でした。特に「環境劇団いるか」団長の本田さんと、団員の亀田さんによる寸劇の活動紹介は、団長と団員との絶妙の間が印象的で、会場の雰囲気のを和やかにしてくれました。

中部地域の自治体による先進事例紹介(5自治体)後、環境首都コンテスト全国ネットワークからエコドライブ



事例発表の様子

についての提案(「エコドライブのすすめ」/環境省 上映)を行いました。もちろん、「本当の交流会」と称して終了後、懇親会も実施しました。

(文/東海事務所 事務局長 平田 勇夫)



参加者で記念撮影

「名豊CLUBポイントカード」ボランティアカードの紹介

名豊クラブボランティアカードは、お客様のお買上げポイントが自動的にボランティア団体へ寄付される全国でも初めてのボランティア支援カードです。オレンジ色の通常カードはお買上げ100円ごとに1ポイント、500ポイントで名豊金券と交換となりますが、緑色の「ボランティアカード」はそのポイントを1年に1度3月に集計、お客様のご希望に応じたボランティア団体へそのポイントに応じた金額を寄付させていただく全国でも類をみないカードとなっています。

URL <http://www.meiho.net/>

(取材協力:ブックセンター名豊)

「環境市民」を登録してくれる皆さま、多謝。ありがとうございます。ボランティアカード会員数 4,363人 2006年4月現在。
(その中の51の方が、環境市民を登録)

●「ブックセンター名豊」刈谷店は、書籍以外に文房具・テレビゲーム・CD、DVDレンタルと販売・焼ききたてパン工房まである楽しい書店。購入した書籍をイトインコーナーで、パンと珈琲を片手に読むこともできる。



ブックセンター名豊 刈谷店
かいせとしま
皆瀬 寿樹氏

愛・地球博をきっかけに うまれた NPO/ボランティア

特定非営利活動法人

愛・地球博ボランティアセンターが発足。

「愛・地球博」で活躍したボランティアスタッフが、これからの自主的な活動をはじめるために設立したNPO法人。会員数2,000人。

私たちは「愛・地球博」の理念を引き継ぎ、「21世紀の新たなボランティア文化」を皆さんとともに創っていきたく考えています。全ての目標を貫く共通のキーワードは「協働」「社会資源の結集」「国際交流」です。

<http://www.vol-expo2005.jp/jpn/index.html>

(広報担当:榎原 孝佑さん)

つづく→

これからも継続されるEXPOエコマネー

「EXPO エコマネー」は、2005年3月25日から9月25日まで、愛知県で開催された2005年日本国際博覧会（愛・地球博）で協会事業のひとつとして実施された、人と地球にやさしい環境通貨の実験事業です。「愛・地球博」の入場券をポイントカードに利用しています。例えばレジ袋を断ったり、公共交通機関を利用するなど、エコ活動をするとポイントがたまっていく制度です。ポイントはエコ商品と交換や、植樹の寄付ができます。

URL : <http://www.es-net.jp/eco-design/>
(NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム)

ばすちかお助けボランティア

1人1kmを運ぶのに排出するCO₂量は自家用車に比べ、地下鉄は1/18、バスは1/2しかないとご存知ですか。この環境にやさしい公共交通機関を利用するお年寄りや身体障害者の方、初めて名古屋を訪れる方をご案内したり、乗り換えの誘導などを行なう市民ボランティアが、名古屋市交通局が進めている「ばすちか‘お助け’ボランティア」です。

このボランティアは愛・地球博開催時から始めており、普段から市バス・地下鉄を利用している中学生以上の方115人（平成17年）が登録し、活動を行なっています。今年も新たなメンバーを募集したところで、今後も拡大していく考えです。（取材協力：名古屋市交通局 営業本部総務部広報広聴室）

テーマ：わたしの身近なエコ。



「愛・地球博」がきっかけで、自分自身なにかが変わった、変わったかも、と感じることはありませんか？ と会員の人たちにお尋ねしました。

●友人たちに環境に配慮した生活をしよう！と、勤めても「ひとりだけでは変わらないよ」と言われます。でも、私はひとりから始めています。量り売りのお店の情報が欲しいです。（五藤 あゆみさん）

●マンションのベランダで、生ごみ処理をミミズを使った方法でやっています。もう4から5年になりますが、ニオイはありません。ただし、生き物を大切に人にお勧めします。（大塚 俊之さん）

●毎日の移動は自転車中心。移動距離が長く、自動車主体の東三河地域ですが私はほとんど自転車で移動しています。1日に50kmくらい走るときもあります。雨ニモマケズ、風ニモマケズ。（森本 和義さん）

●「自転車通勤」会社まで自転車で約15分、いい運動にもなります。ただし、仕事疲れの日は、嫁の車の送迎。元気出さなきゃ！！（木村 智さん）

会員の人たちからリクエストが多かった、量り売りのお店情報



みのや北村酒店

「みのや北村酒店」は、JR・名鉄・市営バスにほど近い大曽根駅交差点北側にある。若くて男前な三代目の北村 彰彦さん（写真下）の面白い店。日本酒、焼酎、味噌の量り売りをしている。有機的につくられた調味料、自然酒、無添加ワイン、エコロジカルグッズ、フェアトレードなどの商品も扱っている。近々立ち飲みコーナーが彰彦さんと友人の手で、リニューアルする予定。お店の面白さが倍増の店舗になる。



【問い合わせ】
「みのや北村酒店」
TEL 052-722-0308
名古屋市東区矢田町 4-69

加藤醸造場

「加藤醸造場」は、名鉄碧南駅から徒歩5分の踏切近くにある。「古式手造り味噌」といえば、加藤武人さん。長いこと、まじめに味噌造りをしてきた男の顔があった。親子でつくるこの味噌を、たくさんの人が楽しみにしている。この店を紹介してくれた人が（辻 正三氏 / 本会会員）、こんな話をしてくれた。「長いことあたりまえに、タッパ（容器）をもって買いに行っている店」。



【問い合わせ】
「加藤醸造場」
TEL 0566-41-0619
碧南市中町 5-1

読者(会員) プレゼント



- グッドデザイン受賞記念マグカップ「3000系」（長崎電気軌道株式会社）
- 「My the circle of peace grow.」2種類の長崎平和を願う缶バッチ
- DVDボックス制作キット（愛知県産杉材）
- 木質ペレット2kg（愛知県豊根村産）
- びんビール券（2本）

※ハガキに希望商品と今月の特集、ニュースレターについての感想、氏名、送り先住所、電話番号、メールアドレスを明記して東海事務所まで送ってください。

《締め切り：11月15日到着まで》

プレゼントは応募者多数の場合、当選者の発表は当選者への発送をもってかえさせていただきます。

みんなで エコろう！ 行事案内

問合せ・申込み
環境市民
http://www.kankyoshimin.org

【TEL】 075-211-3521
【FAX】 075-211-3531
【IP 電話】 050-3581-7492
【E-mail】 life@kankyoshimin.org

環境のまちづくりをすすめる人のための 環境保全協働コーディネーター養成講座in奈良

地域の環境問題の解決や創造的なまちづくりをすすめるためには、住民、事業者、行政など様々な立場の人々がひとつの目標に向かって協力しながら主体的に参画することが求められます。このような参画を可能にするために、時にはリーダーシップを発揮し、時には調整役に回るといった柔軟な思考で、異なる立場の人々の間の合意を形成するとともに多くの人を巻き込んでいく「協働コーディネーター」の存在が求められています。この講座では、環境を大切にしたいまちづくりの協働コーディネーターになるための基本的な考え方と手法を、講義と実践的なワークショップを通して学びます。環境市民で活動する方にも最適の講座です。ぜひご参加を！

対象：

- ・環境のまちづくり活動をしている方
- ・NGOのスタッフや中心的なボランティアの方
- ・NGO、自治体、企業など相互のパートナーシップの具体化に取り組んでいる方

※全課程（11月25、26日の両日午前10:00から午後5:00）参加を原則とさせていただきます。

と き：2006年11月25日（土）、26日（日）
午前10:00から午後5:00

と ころ：奈良市男女共同参画センター「あすなら」
（奈良市三条本町8番1 ホテル日航奈良2階）
TEL：0742-34-1525

定 員：30人

参加費：2000円（両日通しで）

申込み：必要

主 催：独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金
企画・運営：環境市民
協同運営団体：特定非営利活動法人 奈良NPOセンター

第6回 未来創造塾

近自然河川工法その他自然再生の事例・海外の事例から ～人には、自然をよみがえらせる力もある～

人口密度の高い日本では、ほとんどの河川が人工化されています。しかし、河川は、本来生き物の暮らしをつなぐ動脈です。治水など安全に配慮しながらも、人工化した河川を、自然に近い状態に戻す活動が各地で始まっています。なかには「これって、もともと自然のままの川じゃないの」と思えるものもあります。国内外の自然復元の事例から、人には自然をよみがえらせる力があることを紹介します。

と き：11月11日（土）午後1:00から午後4:30

と ころ：環境市民事務局

講 師：堀 孝弘（環境市民事務局長）

参加費：無料

申込み：必要

講座：グリーンコンシューマーが変えるあなたの暮らし ～もっと豊かに、エコロジーに～

環境のために何かをはじめたい、そう感じている人が増えています。そこで紹介したいのが「グリーンコンシューマー」です。

誰もがする「買い物」。その買い物の仕方をちょっと考え、変えることで私たちの暮らしは、もっと豊かになります。難しいことではありません。「環境にいい」という視点でお店や商品を選ぶことで、暮らしを社会をエコロジカルに変え、便利さとももの消費に頼らない本当に豊かな暮らしをつくることができます。そして、誰もがいつでもどこでもはじめられる。それがグリーンコンシューマーです。

今回の講演では、グリーンコンシューマーが社会をエコロジカルに変えることができる可能性を分かりやすく事例を交えながら紹介します。グリーンコンシューマーで変わるあなたの暮らし。今日からあなたもはじめませんか。

【第1回】グリーンコンシューマー 買い物を考える 生活が変わる 社会が変わる

と き：11月17日（金）午後1:30から午後3:30

講 師：枚本 育生（環境市民代表理事）

環境を大切に、持続可能で豊かな暮らしとはどんな暮らしでしょうか？ 生活の様々な場面で私たちはモノを選び、買っています。この「選ぶ」という行為が、社会を大きく変える力を持っているとしたら？ 社会が変わるから暮らしが変わるのではなく、暮らしが社会を変えていく。そんなことがグリーンコンシューマー活動で実現できるのです。

今回は、LOHASとは違うグリーンコンシューマーのライフスタイル、行政や企業との取り組み、海外の事例などを紹介します。グリーンコンシューマーの考え方とこれまでの活動事例をとおして、社会に広がる、暮らしを変えるグリーンコンシューマーの力を紹介します。

【第2回】一人の力と地域の力をつなげる 市民がつくるエコシティ京都 ～ごみ有料化に正面から向き合う～

と き：11月24日（金）午後1:30から午後3:30

講 師：堀 孝弘（環境市民事務局長）

実際に京都で環境に良い商品を扱っているお店やその選び方のポイントを紹介しながら、環境の視点を取り入れた買い物を具体的に伝えます。こうした一人ひとりの取り組みは、お店や地域と一緒に新しい活動となり、個人の暮らしと地域に豊かさを創り出すことにもつながります。下記の取り組み事例も交えて、日々の暮らしと、消費や社会の関係を見直す視点を提供します。

- 「家庭ごみ有料化」の背景や考え方
 - 京都で始まる「リユースびん流通システム」
 - スーパーが取り組もうとしている「レジ袋使用削減」
- ……話を聞いたその日から使える話題が満載です。

《各回共通》

と ころ：ひと・まち交流館京都

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1

定 員：70人

参加費：一般 各回700円 環境市民会員 各回400円

※一般のみ2回連続受講割引あり→1200円

申込み：必要

主 催：環境市民 京都エコ暮らし応援プロジェクト

自転車をもっと好きになるための連続サイクリング

【第1回】木津川サイクリングコース

嵐山渡月橋から木津町まで約45キロの「京都八幡木津自転車道」の前半を走ります。坂も少なく、初心者にもお勧め！ 桂川・木津川を見ながら爽快に走ってみませんか？

京都駅 → 桂川サイクリングロード → 御幸橋（休憩） → 木津川サイクリングロード → ながれ橋（やわた流れ橋交流プラザ四季菜館） → 御幸橋 → 赤池 → 鴨川リバーサイドロード → 高瀬川リバーサイドロード → 京都駅（変更の可能性あり）

と き：11月18日（土）午前9:00から午後4:00解散予定
と ころ：京都駅烏丸口 伊勢丹前集合

【第2回】初めての峠コース

自転車でちょっと山の中へ。京都市北部の自然を体感、そしてなんと、自転車で峠越えまでしてしまうコースです。脱初級コースを目指すあなたへ。

JR二条駅 → 御園橋 → 雲が畑 → 岩屋橋 → 岩屋不動 → 岩屋橋 → 持越峠 → 杉坂 → 京見峠 → JR二条駅（変更の可能性あり）

と き：11月25日（土）午前9:00から午後4:00解散予定
と ころ：JR二条駅前広場集合
参加費：（各回）環境市民会員／800円、一般／1000円
（保険代含む）集合時に集めます
持ち物：昼食、お茶、タオル、雨具、
環境市民発行『京都自転車マップ郊外版』（任意）
服 装：体温調節できる運動に適した服装で
申込み：参加希望者数、お名前、ご住所・電話番号（保険申し込みのため）、参加希望ツアー実施日、またMTBなど郊外のサイクリングに適した自転車の有無を必ずおしらせください。

E-mail：bicycle@kankyoshimin.org
締め切り：11月10日（金）

主 催：環境市民 自転車チーム
協 力：京都サイクリングツアープロジェクト（KCTP）
関西井上商会

備 考……

レンタサイクルご希望の方には自転車の手配に関しましては、KCTP（京都サイクリングツアープロジェクト）でのレンタサイクルをお勧めします。詳しくは直接お問い合わせください。1台1300円から貸し出し可能です。

KCTP（京都サイクリングツアープロジェクト）

TEL：075-354-3636 営時 午前9:00から午後7:00まで
ホームページ：http://www.kctp.net/jp/

※レンタサイクルのお申し込みはお早めに。観光シーズンのため、1週間ほど前までに手配をするようにしてください。

※サイクリングツアーは、コースによって勾配が急な場合や道路状況が悪い場合がありますので、まち乗り用のシティサイクルでのご参加はお勧めしません。

問合せ・申込み

環境市民 滋賀事務所 【TEL】 077-522-5837
【E-mail】 cefshiga@kankyoshimin.org

大津市・大津の町屋を考える会主催の景観アドベンチャーに参加

大津市内を散策し、カメラで写真を撮って、街の景観をアルバムにします。

と き：11月18日（土）午後12:30から3:30
と ころ：大津百町館（Tel:077-527-3636）
参加費：無料
申込み：必要

問合せ・申込み

環境市民 東海事務所 【TEL/FAX】 052-521-0095
【IP電話】 050-3604-6182
http://www.kankyoshimin.org/tokai 【E-mail】 tokai@kankyoshimin.org

自転車に乗ろうキャンペーン

名古屋市栄交差点にて、「自転車に乗ろう！」キャンペーンを実施。自転車大好き人間や、地球温暖化防止に関心がある人大集合。名古屋のまちを自転車で走ります。先着1,000名様に自転車利用をよびかけるオリジナルステッカーをプレゼント。自転車の乗り方が学べる「オトナのための自転車教室」も同時開催。

と き：11月5日（日）午前11:00から午後2:00
雨天時 11月12日（日）
と ころ：名古屋市栄交差点（三越前）
参加費：無料
申込み：必要
主 催：環境市民 東海事務所 であらKETTA map制作委員会
協 力：名古屋市地球温暖化防止対策地域協議会、市民・
自転車フォーラム、ユース・ボラ・ネット、
npo volunteer team japan
備 考：愛知県地球温暖化防止活動推進センター受託事業

ぶちエコロジーランド

書店で行う環境市民の広報活動と、楽しく学ぶ環境講座。太陽光発電など自然エネルギーで鉄道模型を走らせます。

マイ箸づくり、愛知県豊根村の木材を使ったネイチャークラフトなど家族で楽しめます。この機会にボランティアカードに入会してみませんか？（詳しくはP.6参照）

と き：12月3日（日）午前11:00から午後4:00
と ころ：ブックセンター名豊 刈谷店（TEL 0566-21-7121）
参加費：材料費実費、ボランティアカード環境市民登録者は無料
申込み：ネイチャークラフトをする場合は必要。
先着順20名まで。

環境市民 nagoya cafe

運営に関するミーティングを行います。どなたでも参加できます。ぶちボランティアも歓迎します。お気軽にどうぞ。

と き : 11月1日(水) 午後7:00から9:00
 ところ : 環境市民 東海事務所
 参加費 : 無料
 申込み : 必要

ぽっとらっくばーてい

マイカップと一品を持ち寄り、楽しいひと時を過ごします。ぜひお友だち(まだ会員でない方)を、お誘いいただきご参加ください。

と き : 11月16日(木) 午後7:00から9:00
 ところ : 環境市民 東海事務所
 参加費 : 無料
 申込み : 必要



ミーティング&イベントカレンダー

11月 '06

1日(水) ニュースレター編集部 午後6:30から 東海 環境市民nagoya cafe 午後7:00から9:00 (P.10)	19日(日) SKIPチーム 甲賀市 関西電力環境フェスティバルエコファイターショー
4日(土) SKIPチーム 右京区ふれあいフェスティバルエコファイターショー(雨天時は5日)	22日(水) ニュースレター編集部 校正日
5日(日) 東海 自転車に乗るうキャンペーン 午前11:00から午後2:00 (P.9)	23日(木) 電子かわら版 午後7:00から
8日(水) SKIPチーム 午後7:00から ニュースレター編集部 編集日 午後6:30から	24日(金) グリーンコンシューマーが変えるあなたの暮らし【第2回】 一人の力と地域の力をつなげる 午後1:30から3:30 (P.8) 子ども向け環境教育Webサイト制作プロジェクトチーム(みつたまくらぶ) 午後7:15から9:00
11日(土) 第6回未来創造塾 午後1:00から4:30(P.8)	25日(土) 自転車をもっと好きになるためのサイクリングツアー 【第2回】初めての峠コース 午前9:00から午後4:00解散予定 (P.9) 環境のまちづくりをすすめる人のための環境保全協働コーディネーター 養成講座in奈良 午前10:00から午後5:00 (P.8)
16日(木) 東海 ぽっとらっくばーてい 午後7:00から9:00 (P.10)	26日(日) 環境のまちづくりをすすめる人のための環境保全協働コーディネーター 養成講座in奈良 午前10:00から午後5:00 (P.8)
17日(金) グリーンコンシューマーが変えるあなたの暮らし【第1回】 買い物を変える 生活がかわる 社会がかわる 午後1:30から3:30 (P.8)	30日(木) ニュースレター 発送日
18日(土) 自転車をもっと好きになるためのサイクリングツアー 【第1回】木津川サイクリングコース 午前9:00から午後4:00解散予定 (P.9) 滋賀 大津市・大津の町屋を考える会主催の景観アドベンチャーに参加 午後12:30から3:30 (P.9)	

*チーム、プロジェクト名だけのものはミーティングです。

旬のメモ

あなたの心に季節の窓を。
旬の話題と暮らし方のヒントを
お届けします。

● VOL・17● 「こんにやく」 こんにやく芋のできるまでの長い年月

衣替えも終わり、冬の足音が大きくなってきました。この季節は、なんとこんにやく芋の収穫の季節。年中楽しめるこんにやくにも旬の季節があったのです! こんにやく芋は春に種芋を植え付けて、秋に収穫、冬の間は大事に保存してまた翌年の春に再植え付け、という作業を3年間繰り返して育てます。腐りやすく、病

気にもかかりやすいデリケートな作物です。栽培法が確立されるまで、うまく成長するかどうかは栽培者の経験と運任せだったため、「運玉(うんだま)」と呼ばれていたそうです。ぜひ、こんにやくを食べるときは栽培者の苦勞に思いをはせてみてください。

(文/ニュースレター編集部 安江 晃子)

講演のご案内

全国に講演に出かけています。お近くに来た際にはご参加ください。

- 11月11日(土) 京都市/龍谷大学 「環境首都」
- 11月22日(水) 岡山県津山市/「パートナーシップ」
- 11月24日(金) 東京都千代田区/「市民セクター」

※一般参加はできませんが下記の講座にも講師を派遣しています。詳しくは京都事務局へお問合せください。

- 11月 1日(水) 吹田市/吹田シニア環境大学「プログラム作り&プレゼンテーション」NPO法人の活動事例」
- 11月19日(日) 京都市/京エコロジーセンターエコメイト研修 「グリーンコンシューマー活動」
京都市精華町/NPO活動の仕事」
- 11月20日(月)、22日(水) 長岡京市/職員ISO14000研修 「地球環境は今、地域から職員ができること」

ついに発刊!

『グリーンコンシューマー 世界をエコにする買い物のススメ』 環境市民代表理事 枚本 育生著

ニュースレターの読者のみ先行発売!

トヨタのハイブリット車プリウスが高くても売れたのはなぜ? いまではノンフロン冷蔵庫があたりまえ? 消費者が環境により良いものを選んで買い物することで企業が変わり社会のしくみが変わる。一人ひとりの小さな行動がエコ社会への大きな舵取りとなるグリーンコンシューマーの考え方を紹介。

著者は、環境市民の代表であり、欧米で生まれたグリーンコンシューマーの考え方を日本に取り入れた枚本 育生。今では全国の自治体や民間団体が地域版ガイドの出版に取り組み、その講師として引っ張りだこの活躍をしている。本書では 20 年近くわたって実践で培ったアイデアとハウツーをすべて伝える。

●入手方法

本書は 12 月から書店に並びます。いち早く入手したい方は環境市民事務所より発送いたしますので、環境市民 京都事務局まで氏名、冊数、送り先住所、電話番号をメール、FAX または電話にてご連絡ください。送料はご負担いただきますのでご了承ください。

出版社名: 図書出版 昭和堂

取扱い書店などのお問い合わせは昭和堂まで。

電話 075-706-8818

ISBN: 4-8122-0639-1

A 5 判・並製カバー巻き・256 頁

定価 1890 円 (本体価格 1800 円 + 税込)

目次:

- 第1章 グリーンコンシューマーって何だ?
- 第2章 環境問題の根本的な解決へ
- 第3章 生活の豊かさを創るグリーンコンシューマー
- 第4章 社会・経済システムを変える——買い物を考える、社会が変わる
- 第5章 日本のグリーンコンシューマー活動——萌芽期
- 第6章 日本のグリーンコンシューマー活動——発展期
- 第7章 グリーンコンシューマー活動を創る
- 第8章 日本のグリーンコンシューマー活動の課題、そして展望
- 第9章 より深いグリーンに——本当の豊かさ、持続可能な社会へ

推薦文:

高月 紘氏

(京都大学名誉教授、石川県立大学教授、^{みやこ}京エコロジーセンター長)
子どもからお年寄りまで、誰でもできる環境のための行動、それがグリーンコンシューマーです。たった百円の買い物でも、少しでも環境により良いものを買うことで、社会を変える一歩になるのです。

中原 秀樹氏

(武蔵工業大学教授、グリーン購入ネットワーク代表)
推薦します! グリーン購入ネットワーク 3000 団体を代表して。消費者は環境破壊者なんて言わせない! 地球温暖化防止から家計の助けまで、ちょっとした工夫で本当に豊かな暮らしが実現できるヒントが本書に満載されています。



~環境市民の今、そしてこれからの活動をお知らせします~

とれたて! 環境市民



始めよう、環境ボランティア! 環境 NGO 入門講座



よく晴れた運動会日和の 10 月 8 日 (日)。ぱ・る・る プラザ京都 (京都市下京区) にて、地球環境基金主催、環境市民企画・運営の「環境 NGO 活動入門講座」が開催されました。「環境 NGO でボランティアしたい」「環境 NGO 活動に関心がある」でも、「何をしたいかわからない」「どこの団体で活動しようか悩んでいる」という想いを持っている方を対象とした入門講座で、全国でも京都のみでの開催でした。

当日は学生からシニアまで約 80 人が参加しました。プログラムは 2 部構成で行なわれました。午前中の第 1 部では環境市民を含め 8 つの環境 NGO がそれぞれの先進的環境活動をリレートークで紹介しました。「環境 NGO」と一言で言ってもその活動はさまざま。地元地域に密着した活動、国外での支援活動、温暖化防止活動、公害地域の再生・保存活動など、たくさんの活動事例を知ることができました。

休憩をはさんで午後の第 2 部へ。8 つの団体が 2 団体ずつ、温暖化防止、環境教育、まちづくり、循環型社会形成の 4 つのセッションにわかれて、より詳しい活動紹介や参加者との交流を行ないました。各セッション定員 20 人と少人数で行なわれたので、質問もしやすく環境 NGO の方ともより近くで話げできました。

アンケート結果によると、「環境問題について真剣に考えようという方向に進めていこうと活動する方々の姿がとても印象的で、よい刺激になりました」「今後の自分の活動、生き方に影響を与えてくれる時間になった」など、好意的な評価が多かったようです。

そして講座は和やかな雰囲気懇親会へ。今回の参加者の方と一緒に活動できる日が楽しみです。

(文 / ニュースレター編集部 安江 晃子)



みんなでわいわい、がやがや、額を寄せて 「日本の環境首都コンテスト」の 質問票勉強会が現在進行中！



全国 11 の環境 NGO のネットワーク組織「環境首都コンテスト全国ネットワーク」（主幹事団体：環境市民）が、2001 年から毎年実施している「日本の環境首都コンテスト」も今年で 6 回目を迎えます。

深刻化する地球環境をなんとかしたい。そのための試みのひとつとして、“持続可能な地域社会を創る！”というテーマのもとに、全国の自治体の環境施策を調査するとともに、自治体へ施策提案するプロジェクト。

コンテストに参加する自治体も決まって、各自治体では回答作業が進んでいます。提出された回答はスタッフが分担してチェックします。ただ、その質問票は約 90 問、170 ページという膨大なもの。そのため、回答が来るまでの間、スタッフみんなで質問項目の内容、意図などに関

する勉強会を毎週開き、スタッフのパワーアップを図っています。

このプロジェクトでは、たくさんのボランティアスタッフが参加して回答チェックから全体コーディネートまで、役割や責任を分担しながら進めています。関心がある人なら誰でも参加できます。一度、勉強会をのぞいてみませんか。

● 11 月の勉強会の予定

第 1 週：自然環境の保全と回復；健全な水循環

第 2 週：住民のエンパワーメントとパートナーシップ 他

第 3 週：風土を活かした景観形成と公園づくり 他

第 4 週：自治体交流 他

（具体的な日時については環境市民までお問い合わせください）

（文 / 環境首都コンテスト ボランティアスタッフ 丸山 よね子）



"The Renewability" Haiku-Hike 「リニューアビリティ俳句ハイク」プロジェクトに 参加しませんか

2012 年に開催が決まったロンドンオリンピック。ロンドン東部は移民とアーティストが多く住んでいる地区です。そこではゆっくりと、しかし確実に、環境が変わりつつあります。物価の上昇、ビルの立て替えなど、これまでそこに暮らしてきた人々が立ち退かざるを得ない状況も生まれているそうです。しかし、この状況は英国内でもまだそれほど知られていません。まして遠く離れた日本でもしかりです。そこで、ロンドンで活動する NPO "Crossover uk*" はアートを架け橋に、この地区の再生を考えるため市民の関心を呼び起こすプロジェクトを実施したいと考え、環境市民に協力を打診してきました。そこで当会では、世界の人々との協働というミッションに照らし、プロジェクトに協力することになりました。

● 「リニューアビリティ俳句ハイク」プロジェクトとは

身近にある自然、環境問題をデジカメで撮影し、その画像に込めた想いを日本語で俳句にし、メール送信すると、"Crossover uk" の管理者によってブログに掲載されます。その際、俳句の英訳を併記するか、俳句に込めた想いの説明文を日本語で記載すれば "Crossover uk" の担当者によって英訳され、掲載されます。掲載された画像と俳句は、ロンドン市内のマイルエンドパークにアーティストック

に展示され、広く社会へのアピールに活用されます。

でもなぜ「俳句」なのでしょう。俳句は自然や四季を、洗練された 17 文字に読み込む表現手法。イギリス人と日本人の自然への感性の違いを俳句を通してお互いを知ること、身の回りの環境を見つめ直して地域再生について考えようというアイデアなのです。また歩くことの好きな国民の多い英国の NPO らしく、俳句 (Haiku) とハイキング (hike) をかけたネーミングでプロジェクトをアピールしています。

● 期間と送信方法

受付期間：2006 年 11 月中

info@crossover-uk.org 宛に画像を添付、俳句とその英訳文あるいは日本語の説明文を送信してください。カメラ付き携帯電話からの送信も OK です。

画像サイズ：5MB 以下

画像の保存形式：JPEG、アニメーションでない GIF、PNG

*Crossover uk の web サイト <http://www.crossover-uk.org/>

（文 / ニュースレター編集部 風岡 宗人）

京

都のイロハカエデの紅葉とは、全く異なる錦秋が広がっていた。真紅、朱色、黄金色、黄緑、緑に染まった灌木が、パツパツクを描いて曲線的に大きく広がっている。ナナカマドの赤、ダケカンバの黄、ハイマツの緑が織り成す色鮮やかな世界。そこに岩肌、茶と灰、澄み切った空の蒼が加わる。そして時には初雪の純白も。三段染め、五段染めさらには七段染めとも表現される。日本の山岳紅葉の代名詞ともなっている涸沢（からさわ）の9月末から10月初めの風景だ。穢れない空気を身体一杯に吸い込み、この自然に溶け込む。



涸沢は北アルプス穂高連峰の懐、海拔2400メートル〜3000メートル付近にかけて丸く広がる谷である。日本にもかつて氷河があった何よりの証となるU字谷である。

その上部は森林限界を完全に超えており、岩肌と可憐な高山植物の世界であるが、下部には背の低い木々が生え、下界よりも一足も二足も早い秋を迎える。

涸沢に入るには多くの日帰り観光客が押し寄せる上高地から歩き出す。ただ上高地はマイカーの乗り入れを禁止しているので交通渋滞による環境被害は蒙っていない。またバスやタクシードも上高地までしか入れない。上高地の河童橋から眺める岳沢、梓川の風景は見事だが、朝一番か夕刻に行かないと静けさは求められない。上高地は五千尺と呼ばれる海拔1500メートルにある。

ここからカラマツ、イチイ、コナシ、クマザサなどで形作られた森の道を梓川の左岸沿いに上流へ向かう。標高差はあまりなく、透き通った青と緑に変化する梓川の色を楽しむ。前穂高の前峰である明神岳が迫り、日盛りに河原の石が白く輝く。

1時間ほどで明神に着く。明神には穂高神社の奥社があり、深い静けさに囲まれた明神池がある。ここから先は観光客はもう来ない。ケシウヤナギが美しい梓川沿いにさらに1時間歩くと徳沢に着く。徳沢はかつて牛馬が放牧されていたため、森に囲まれ沢水が小川を作る草原になっていて何日でもテントを張っていたくなるキャンプ場だ。その徳沢からさらに1時間、横尾に着く。ここまでは登山する人間にとっては散策路。

梓川に架かる橋を渡り横尾谷に入っていく。道は幅が狭くなり、最初は苔むす森の中に入っていく。やがて河原に出るが左手の屏風岩が迫ってくる。1時間ほどで本谷橋に着き清冽な流れを渡る。ここから「新人殺し」とも呼ばれたつづら折れの急坂が続く。テントなど山の道具が進歩し軽量化されたから昔

ほど重くはないが、調理器具、食糧、水など20kgを超すザックが身体に重くのしかかる。速度を落とし、一歩ずつゆっくりと脚をすするめるのが疲れないコツだ。汗もボタボタと落ちてくるが気分は爽やかだ。半時間に一度の小休憩を入れながら1時間半ほど登ると眼の前が大きく開け、前穂、奥穂、北穂と続く穂高連峰が姿を現す。涸沢に到着だ。さらに半時間ほど色とりどりの灌木を縫うように傾斜が緩くなった道を涸沢の中心に進む。

涸沢には2件の山小屋があり、その間には生命の危険がない限り、指定されたキャンプ地が指定されている。日本アルプス内では生命の危険がない限り、指定されたキャンプ地以外ではテントは張れない。自然への影響を思うと当然のルールである。このキャンプ地は草原の徳沢とは違い、石に覆われている。平たい石が多いが眠るときは寝袋の下に二重にマットを敷く。それでも硬い。しかし、この自然を味わえるなら大したことはない。

10月初めとは言え、夜になれば海拔2500メートルは冷える。寝袋の中でセーターを着ていても夜明け前は震える。寒さで起き出し、ウイスキーをたつぷりと入れた紅茶を飲むと身体が少し柔らかくなる。黎明の深い青に囲まれた影絵のような山々を眺めながら、夜明けを待つ。やがて空の青が変化し、

光が差し込み始める。涸沢からみると穂高は西側になるので、陽を真横から浴びたように山肌が赤く染まる。日本の登山用語はドイツ語が多いが、この朝焼けもモルゲン・ロートと言われる。荘厳としか言い表しようのない。多くの人は自然の中で朝日を見ると、謙虚になれる。その気持ちを普段でも大切にしたいが、現代社会はあまりにも酷いことが多い。その社会を少しでも変えていくには、自然の力を時々もらいに行くことが必要なかもしれない。



ナナカマド

この連載の奇数回では、世界や日本の豊かな自然を描き、偶数回では日本社会やNGOへの提案を載せていく予定です。

第九回 涸沢の秋

文・写真／環境市民代表理事 枚本育生

連載 青き星 碧い風

みんな集まれ！ わいわいひろば ひろば

最終回

「歩くこと」

環境市民の主婦として、日頃から「エコな生活」を心がけている中で、健康法だという意識もないけれど、一つだけ言えそうなのは「歩くこと」でしょうか。でも日課のウォーキングなどはありません。我が家に車はないので、外出は電車を使いますが、駅のエレベーターは使用しない。階段をのぼるときも、すいていけば一段おきに。町の中では姿勢を意識して胸を張って。ほかに月に一度はウォーキングのイベントに参加して10キロくらい歩きます。(S.M.)



「はやく歩くこと」

下水道の管理部門の仕事から、環境の仕事について9年になります。親から健康な体もらったようでもう大きな病気もせずに暮らしています。

下水道の仕事のときは、よく現場に出かけてからだを動かしていましたが、環境にきてから「理屈」を言うばかりで、体が動きません。そこで、わたしの健康法はよく「歩く」こと。そして「はやく」歩くことです。これは運動不足の者にとって、有効かつ持続可能なエコな健康法。帰宅後も歩き足りない時は、家のまわりを約30分、足早でひたすら歩いています。池田駅を降りて市役所まで、人をかき分けて、足早に歩いている「変なおっさん」がいたら、それがわたしです。

(池田市環境にやさしい課 課長 中村昌史さん/本会会員)

「走ること」

私はマラソンに取り組んでいます。走ることを通し、自然に触れてみて、忘れていたものを思い出しました。自分も自然の一員なんだ、ということ。自然が健康じゃないなら、自分も健康じゃないんですね。(P.N. フジ)



「自転車通勤」

私の場合、連日の残業など忙しい毎日、健康のために使える時間は限られています。よく考えてみると、通勤時間を有効に使うとメタボリックシンドロームの予防になります。25年間自転車通勤をしており、「不便じゃないか？」とよく聞かれますが、「ぜんぜん」と返答しています。

狭い日本、なぜそんなに忙しく走り抜けなければならないのか？私には理解できません。このエコな健康法で体力を維持し、リタイアしたら、私の夢のひとつを実現したいと思っています。十字軍の出発点だったヴェズレーからサンチアゴ・デ・コンポステーラまでの巡礼道を自転車で巡ってみよう！(亀井泰裕さん/本会会員)

10月のテーマ：

「私のエコな健康法」

本格的な冬を前に、体力づくりが欠かせないこの時期。日頃実践している「エコな健康法」についての投稿文をご紹介します。

あなたと
つくる
ページです

「ストレスフリー」

①最近、寝る前に5分間のストレッチを始めました。毎晩こむらがえりに悩まされていましたが、血行がよくなってやや解消され、ぐっすり眠れる気がします。お布団の上で簡単にできるから、毎日続けられるといいのですが。②寝る前に、ハーブティーを飲む。ペットボトルのお茶にはない、おいさと優雅な気分を味わえます。③少し時間があたら、地下鉄2～3駅分くらいは徒歩で移動をしています。京都は自然も豊かだし、まちなかも歩いて楽しめるので、あまり疲れない気がします。④お腹から声をだす。好きな歌を口ずさみながら、掃除や洗濯したり、お料理をつくらったり。気分転換をしながら、ストレスフリーで生活しています。(P.N. もじゃさん)



「仕事・家事の合間にも休まずに」

微妙な体力の衰えを感じる今日このごろ。これじゃいかん！と思いつつ、飛んだりねたりの運動をするやる気もなく、仕事の合間の移動に積極的に階段を使うようにしました。あとは、休憩中もごろんとするのではなく、座ったり、家をせせと片づけたり。家も片づくしダイエットにもなるし！？ エコロジカルなジムとかなのかな～。エネルギーを使った運動というものもなかなかねえ。(P.N. 赤とんぼ)

編集部より…… 一番手軽でエコな健康法はやはり自分の五体を使った運動ですね。三日坊主ではない、サステナブルな方法であることもエコな健康法の要件でしょう。「病は気から」とも言います。きつい運動だけでなく、ストレスフルな毎日をいかにしてストレスフリーにするかを考えるのも楽しいのでは？ よいことはどんどんまねて、それぞれのエコな健康法を見つけましょう。冷暖房完備のスポーツジムで、窓越しにランニングマシンでひたすら走っている人を見て、この社会の矛盾を感じるのだけは私だけでしょうか……。(M.K.)

「みんな集まれ！わいわいひろば」は12月号をもって終了いたします。

「わいわいひろば」では読者との双方向のコミュニケーションを目的に、多くの方からの投稿を掲載して参りました。これまで投稿、応援いただきありがとうございました。

1月からは新コーナー「みどりのかわら版」(仮称)が始まります。このコーナーでは、「データで見る環境市民」「環境クイズ」「四コマ漫画」「突撃！ 会員インタビュー」「特派員だより」など、多様な情報を掲載して読者の皆さんと楽しく交流していきます。お楽しみに！

読者の皆さんからのお便りは今まで通り募集します。本会の活動やニュースレターへのご意見・ご提案など、お待ちしております。

➡ ニュースレター編集部まで、メールかFAX、郵送でお送りください

● E-mail ●
newsletter@kankyoshimin.org

● FAX ●
075-211-3531

〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル 呉波ビル3階
NPO 法人環境市民 みどりのニュースレター編集部 宛

環境市民のウェブサイトからも投稿できるようになりました！

●環境市民ウェブサイト URL <http://www.kankyoshimin.org>
《トップページ》→《ボランティアひろば》→《掲示板一覧の「みんな集まれわいわいひろば」》と順にクリックしてください。

1 環境市民

かんきょうしゅしみんぶんのいち

環境市民の会員を紹介しします

第17回 竹原 幸子さん

環境市民 東海事務所環境教育などの活動を意欲的にはじめた竹原さんにインタビューしました。

聞き手 環境市民理事 東海事務所所長 鶴岡朗

●環境市民を知ったきっかけは何ですか？

私は、碧南市の環境基本計画を策定する際に市民委員として参加しました。その策定プロセスの中で、環境市民のスタッフの方がコーディネーターとしてくれました。そこでの出会いが最初です。

(環境市民は公募コンペで碧南市の環境基本計画策定事業を受託) ずいぶん難しい話をされて、最初はチンパンカンパンなところもありました。それでもフィールドワークやワークショップを取り入れることで自然と分かりやすくなり、知識も吸収するようになりました。「現場が大切」と言われるスタッフのTさんのお誘いで、環境教育のスタッフとしてTさんの現場を体験させていただきました。

●竹原さんが会長をなさっている

「へきなん市民環境会議」とはなんですか？

碧南市の「環境基本計画」策定のため、市民参画によりリーディング・プロジェクトを考え、2004年(平成16)3月に「碧南市環境基本計画」が策定されました。

その後「この計画を自分たちで何とか継続していきたい」「プロジェクトを実現していきたい」と、同年8月に「へきなん市民環境会議」が発足。市民からの一般公募20人、企業20社、そして市職員(市民として参加)数人のメンバーで月一回定期会を行っています。会議は、自然分科会、まちづくり分科会、ひとづくり分科会の構成で進めています。プロジェクト内容は、矢作川(ふれあい事業や碧南の景観(風景)保存・創造、生ごみ活用循環、環境リーダー養成講座の開催)やみんなで作るまい「碧南環境マップ」などたくさんプロジェクトがあります。

●日常生活で環境について、気にしていることはありますか？

環境に関する研修会講演会で、人の話を聴いたり

情報を入手したりして自分自身の環境意識を高めています。

●なにか実践していることはありますか？

車のアイドリングをしないようにしています。買い物にはマイバッグをもって行きますね。あとは、電気をごまめに切るなど。電気製品を購入するときは、省エネ製品を購入するようにしています。

*環境を考えて生活する実践例として、衣食住に関する質問をしました。

●衣服に関して気にしていることはありますか？

まず清潔であること。そして今の自分自身に合うものを着るようにしています。できるだけTPOを心がけています。そして、汚してしまったらすばやく汚れを落とすなど大切に扱うようにし、不要になった衣類は着てくださる人に貰っていただいています。衝動買いはやめて、賢い消費者になるよう気をつけたいですね。

●今日の食事の内容を教えてください。

(朝・昼・夜、いずれか)

いつも旬の食材を使って手づくりを基本にしています。ちなみに昨日の夜はご飯、味噌汁、コロッケ、野菜炒め、生野菜、漬物、デザートに梨をいただきました。

●住まい(ご自宅)で特徴的なことはありますか？

敷地内に20種類くらいの木があります。自宅にしながら季節感を感じることが出来ます。家の前に川が流れていて、その向こうには畑が広がり、幡豆の山々が見える場所にあります。今騒がれている東海地震、東南海地震の際には液状化すると言われているので複雑な心境で暮らしています。

●環境大臣に任命されたら何をしますか？

地球温暖化が問題になってきている現在、やるべきことは沢山あるけれど、小さい時からの環境学習が大

切だと思えます。保育園・幼稚園から小学校などで環境学習が行われていますが、まずは家庭の中で親が幼いころから続けていくのが一番だと思います。

●10年以上継続しておこなっているモノ(コト)はありますか？

福祉ボランティアをしています。できるときにできることを、と思っ続けていますが、ボランティアをする人の年齢が段々高齢化していくのが気がかりです。若い人がもっと参加してくださるといいな〜とも思っています。講演などの要約筆記ですが、もととは手話の講座だっただけでビックリしました。

●本当にそそつかしい私です」と笑顔で笑う姿がとて

も上品で、素敵な竹原さんでした。これから

もお元気で活躍ください。ありがとうございました。

※名古屋弁でつくろの意



プロフィール

「へきなん市民環境会議」会長。防災ボランティアや、環境市民 東海での活動に加え、福祉の要約筆記サークルの活動なども楽しみながら積極的に行っている。

私たちが今月のニュースレターをつくりました

環境市民東海事務所の皆さん

【編集部】(五十音順)

有川 真理子 風岡 宗人 久保 友美
千葉 有紀子 寺西 孝一郎 羽野 和幸
藤岡 洋貴 安江 晃子 鱒部 晶彦
下司 智子(デザイン・レイアウト)

編集後記

追加情報！愛知県はカーシェアリングの社会実験への参加者を募集している。この実験は、省エネルギーや地球温暖化防止、渋滞の緩和などさまざまな社会的、経済的メリットが期待されるカーシェアリングの認知度を高め、その利用促進を目的と実施するもの。【問】愛知県環境部大気環境課 地球温暖化対策室自動車環境グループ 052-954-6217 (鶴岡朗)

次号予告

みどりのニュースレター No.163 2006年12月号

現在編集集中!

特集：環境税

地球温暖化を防止する手段として導入が検討されている環境税を市民の目から見直します。環境税案を理解するためのポイントも紹介します。

今月のありがとう!

目立たないところでも、
お力を貸してくださった方々に、
感謝をこめて。
(敬称略)

10月号ニュースレターの発送

丸山 よね子 / 三谷 斉 / 南村 多津恵
山形 七日 / 吉尾 麻里
《五十音順・敬称略》

毎月ボランティアのみなさんの手で折ら
れてみなさんの手もとにとどきます!

ご協力、ありがとうございました!

新会員の方々

9月13日から10月16日

岩間 悠嘉湖
橘 知世
谷田 泰
中尾 哲也
横澤 佳奈

寄付

9月13日から10月16日

伊藤 浩樹 (財)ソロブチミスト日本財団
新玉 卓代
竹原 幸子
増田 武
山田 岳

ありがとう
ございました!

い わ ま り か こ
■ 岩間 悠嘉湖さん (9月20日入会)

以前から環境市民には興味があり、
山梨県で行われた環境市民代表理事
枚本さんの講演に参加したところ、大変感銘を
受け、入会を決めました。青森県六ヶ所村再処
理工場の危険性の問題を、環境市民を通じて、
全国の人たちに向けて発信していきたいと思っ
ています。

新入会員
*
INTER
VIEW

環境市民に入会しよう!

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。
「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください!

会員特典

- 月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。
- 行事などの参加費を割引させていただきます。
- 会員専用ブログ「ボランティア広場」への参加ができます。
- 環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。

会費の振込み方法

- 郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・
送金内容事項をご記入の上、「年会費+入会金」をご入金ください。
(※シニア・学生・助成・特別助成会員は入会金不要)
- ご入金を確認後、最新のニュースレターと会員バッジ、入会記念と
してポストカードをお届けします。

会費

種別	年会費	入会金
個人会員	4,000円	1,000円
ペア会員	6,000円	2,000円
シニア・学生会員	3,000円	—
ファミリー会員	8,000円	2,000円
助成会員	10,000円	—
特別助成会員	50,000円	—
終身会員	一括 80,000円	—
営利法人会員*	1口50,000円	50,000円
非営利法人会員*	1口10,000円	2,000円

*年会費は一口以上

~あなたのご支援が環境市民を支えます~

♥ 寄付をする... 住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、下記の振込先へお振り込みください。

会費・寄付のお振込み先 【郵便振替】口座番号：01020-7-76578 加入者名：環境市民

(発行) 特定非営利活動法人 環境市民 (代表) 枚本 育生 (発行人) 堀 孝弘
【TEL】 075-211-3521 【IP 電話】 050-3581-7492 【FAX】 075-211-3531
【E-mail】 life@kankyoshimin.org 【URL】 http://www.kankyoshimin.org
〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル呉波ビル3階 (月から金 午前10:00から午後6:00)

環境市民 東海事務所

【TEL&FAX】 052-521-0095 【IP 電話】 050-3604-6182
【E-mail】 tokai@kankyoshimin.org 【URL】 http://www.kankyoshimin.org/tokai/
〒451-0062 愛知県名古屋市中区花の木1丁目12-12 花の木 AOIビル4階

環境市民 滋賀事務所

【TEL】 077-522-5837 【E-mail】 cefshiga@kankyoshimin.org
〒520-0046 滋賀県大津市長等2丁目9-12 笹文彦気付

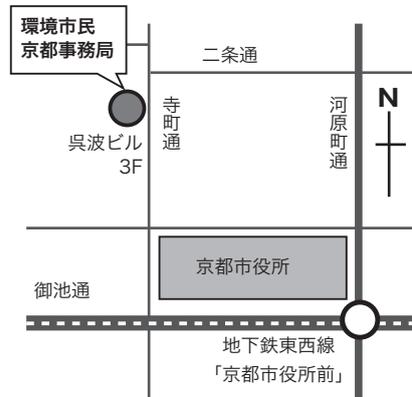
本誌の無断複写・複製・転載を禁じます。
「環境市民」登録商標 第4809505号

みどりのニュースレターは1部200円です。一部は
環境市民の活動資金として使わせていただきます。
なお、会員には毎月無料配布しています。

この印刷物は風力発電による自然エネルギーを使用して
古紙配合率100%再生紙に、大豆油インキで印刷しました。
印刷：(有) 祉書房



古紙配合率100%再生紙を使用しています



環境市民

Citizens Environmental Foundation

21世紀

地球を、地域を、生活を、
持続可能な豊かさに

